

[☆]第186回触媒化学研究センター談話会

講演者： 池田茂 氏

(大阪大学・太陽エネルギー化学研究センター・助教授/PRESTO-JST)

演題： 異方性粒子の合成と応用

日時： 2005年3月17日(木)

13:30 - 15:00

会場： 北海道大学創成科学研究棟04 - 213

講演内容：

シリカなどの酸化物粒子の表面疎水化法として、長鎖アルキル基をもつシリル化剤を酸化物表面の水酸基と反応させる方法が広く用いられている。この際、シリル化剤の量やアルキル基の長さを変えれば、表面全体の疎水性の等方的な制御は可能であるが、一つの粒子の疎水性を部分的に変えて、異方的な表面特性を得ることは容易ではなかった。最近、われわれは、粒子表面の一部分だけをシリル化剤と反応させて、親水性と疎水性の両表面をもたせる方法を開発した。ここでは、この異方性粒子の調製、構造評価およびその機能についてのべる。

皆様のご来聴をお待ちしております。

連絡先：北海道大学触媒化学研究センター触媒反応化学分野
大谷文章 (011-706-9132/ohtani@cat.hokudai.ac.jp)